

県女第一期生より、皆実高
校生に至る八十三年の歴史
に連なる者。また今後、この
同じ流れに足音を揃えて元
音高く声を揃えて元氣に歩
もう。我等は、皆実有朋会
員である。歩もう、歩もう
力強く！



発行所
広島市南区出汐町
広島皆実高等学校内
社団法人
皆実有朋会
TEL 254-1290
印刷所
三栄印刷株式会社
東雲1丁目 ☎2841988

「緞帳の御寄贈によせて」

皆実高校校長 西本省三

広島皆実高校は、現在、
普通科三二学級、衛生看護
科三学級、専攻科二学級で
一六三〇名の生徒が在籍し
て勉学に励んでいます。

全日制では、生徒数にお
いて県内で最大規模の高校
となっております。したが
って、施設面も年々整備さ
れてまいりましたので、古
い卒業生の方々には、昔日
の面影を一新した感がある
かと存じます。

こうした中で、懸案とな
っていましたが、体育館
兼講堂の新設です。御案内
のように、旧館は、昭和四
〇年に建てられ、建築面積
が一四七㎡で、現在では
二個学年の生徒しか収容で
きず、諸行事に支障をきた
していました。

ところがこのたび、待望
の新館が建設され、建築面
積は一六七四㎡で旧館の
一、七倍の大きさの上に、
二階建てであります。

そこで私は、昨年の春、
この建設の見通しがついた
段階で、厚かましいとは思
いませんが、皆実有朋会に
ステージの緞帳の御寄贈方
をお願いいたしました。
教育振興基金による御援



体育館兼講堂

1985年6月8日完成

助をいただくようになった
直後ですから、その御負担
を考えますと、私としては
恐縮いたしながらも、大変
な勇気が必要でした。
それでも敢てお願いいた
しましたのは、八〇余年の
歴史と伝統に輝くわが皆実
高校が、最も誇りとしてい
るのは、何といつても皆実
有朋会の存在であります。
二万二千名を超える会員
の方々、全国各地で、そ
れぞれ立派に御活躍されな

がら、母校を、在校生を見
守り、激励してくださいとて
いるということです。
私は、この歴史と伝統の
重みを、在校生達が常に念
頭にもって、日頃の学習活
動に励んでくれることを願
うからです。
幸い、中川理事長さんは
じめ役員の方々、会員の皆
様の温かい御理解をいただ
き、困難な中を募金の御協
力によって、去る六月八日
の新館落成に際して、立派

な舞台緞帳と一文字・袖幕
一式を御寄贈くださいまし
た。

しかも、その緞帳は、東
海大学助教授の棚谷 勲氏
(皆実十三期)に原画を依
頼され、その画題「バード
アイランド」を織り込んだ
高尚優美な織物で、他の公
立高校では類を見ない逸品
であります。

この皆実有朋会の御芳情
に対し、教職員・生徒一同
は、よろこびと感謝の気持
で一杯であります。

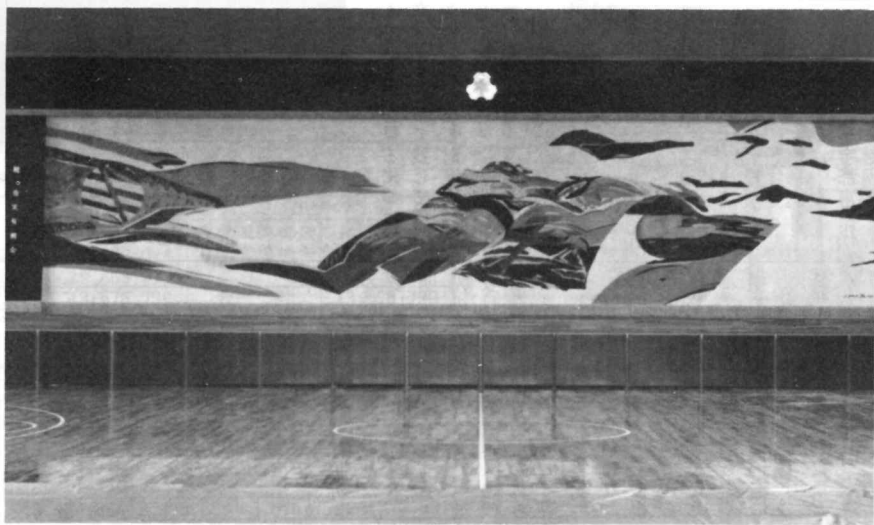
あれから生徒達は、体育
館兼講堂での諸活動や行事
のたびに、わが校自慢の緞
帳を仰ぎ見て、つましく
輝く「贈皆実有朋会」の金
文字に感銘を新たに、先
輩の励ましを、温かく、時
には厳しく受けとめて努力
していることと思います。

ところで、今年も定例の
総会にお招きいただき、教
育振興資金の目録を頂戴い
たし、まことにありがとうございます
ございました。多数の会員
の出席のもとに、盛大かつ
厳粛に開催された総会、和
気あいあいのうちに楽しく
進行する懇親会に、私は何
とも言い難い力強さ、頼も
しさを覚えました。

そうして、懇親会の歓談
の中で、卒業生の一人が率
直に言ってくれた「学校は
建物ではありません、人で
すよ」というひと言は、今
も私の脳裏に強く残ってお

ります。
このことは、卒業生皆様
の、現在の皆実高校と生徒
に対する、真摯な、御激励
と御期待の御提言として理
解し、厳しくうけとめてい

きたいと存じます。
最後に、皆実有朋会のま
すますの御発展と会員の皆
様の御活躍、御多幸を祈念
して御礼といたします。



緞帳原画画題「バードアイランド」

東海大学助教授

棚谷 勲氏

(皆実第13期卒業)